



TITLE:

倉敷通信(7月1日)

AUTHOR(S):

小山

CITATION:

小山. 倉敷通信(7月1日). 天界 1935, 15(172): 400-400

ISSUE DATE:

1935-07-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167063>

RIGHT:

倉 敷 通 信 (7月1日)

京都の大雨、皆様お變りありませんか、急報にでも出るのではないかと思います。
つてゐます。

當地は26日より毎日降り續いてゐるだけで、出水の恐れは豪もありません。

カルパ1の大修理決行の事となりました。期待して下さい。

構内の畠のナスビ、キウリ、トマトが食へる様になりました。

むかではゐませんがへびが出はじめました。

蚊が多いので線香を立て、望遠鏡をのぞいてゐます。

昨今花山で撮した Plate の整理が逆々片付きません。

暑いのに閉め切つて當分晝はハルトマンで Plate の測定です。

先頃やつと「未完成交響樂」と「商船テナシテイ1」の特別週間がたつた二日間ありました。

倉 敷 小 山

編輯だより

★日本内地で見える日食として明年の北海道の日食は餘程以前より待望されて來たものである。それが早くも後十ヶ月餘に迫つてゐる。この日食を迎へる欣びを持ち切れなくなつて、本號より續々日食記事載せる事にした。期待して頂きたい。

★八月と云へば流星月なので、流星に関する記事特に興味あるものを入れた。

★本誌の内容・體裁に就いて「こうすれば確かに良くなる」とか「是非こんな記事を入れるべきだ」と思はれたならば何卒御一報を煩したい。我々は第三者の方々の批評の聲を常に有難く拜聴し、實現出来るものは直ぐ取掛りたい。特に十一月號改卷に當つて充分備準する意味からでも。——從來、多くの方々にはこの眞意を解して頂けないらしい!!

★本誌は一般街頭に出る雑誌ではない、従つて「會員」組織と云ふ意味をよく理解して頂き、お互ひにもつと胸襟を開いて協調努力したい。良くなるも悪くなるも會員諸氏の御盡力に據る處頗る多いのであるから!! そして、ドシドシ御寄書願ひたい。

(T. T. 生)